

## 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700826
事業所名	グループホーム 若宮

## 【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域での防災意識も高く、地域との防災訓練も年に複数回行われ、入居者も車いすで参加し高所への非難を実践した。前の道路が通学路であり、以前たまたまトイレを借りに来た小学生がきっかけで、今もよく小学生が雨宿りなどでも立ち寄る。地域の区長はホームの実情もよく理解し「災害時に備え、入居者の実情を知りたい」と配慮してくれる。	
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	入居者・家族・職員・地域代表を核に、役場職員・地域包括センター職員も必ず参加して、年6回開催されている。委員からは「ホームは低地なので避難には特別な対策が必要」と提言され、翌月には近接する関連のグループホームへの避難を決定した。参加した入居者が、行事報告での写真を見て「あ、私が居るわ…」との一声に管理者は心が和んでいる。	
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	役場主催の『3A運動』（挨拶・安全・安心運動）に参加しその旗を玄関に掲げている。そのためもあってか、小学生も気軽に訪問してくれている。運営推進会議では役場担当者が単なる受け身ではなく積極的にホームの困難事例を聞き出している。	
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族は運営推進会議にも代表が参加している。入居者も参加している。家族会はないが3か月に一度は家族への写真付きお便りを届けている。食事のメニュー・おやつ・身の回り品などの希望があればすぐに取り入れ、買い物出しには、その本人に同行してもらうこともある。	
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		○

## 【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	

## 1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

## 2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。